



# 高島地域 住民自治協議会 だより【No.5】

**「サポートリングたかしま」は、まちづくりの交流拠点となることを目指しています！**

## 8月の予定表

相談員

1	月	お休み	
2	火	お休み	
3	水		川島 清治
4	木		清水 良恵
5	金		竹中 寛
6	土		中村 眞奈美
7	日		林 勝
8	月	お休み	
9	火	お休み	
10	水		仁賀 定夫
11	木	山の日	廣坂 吉憲
12	金	お休み	
13	土		水谷 裕之
14	日		山田 善嗣
15	月	お休み	
16	火	お休み	
17	水		藪内 キヨ子
18	木		横田 久夫
19	金		井上 修三
20	土		河毛 悦男
21	日		中村 眞奈美
22	月	お休み	
23	火	お休み	
24	水		川島 清治
25	木		清水 良恵
26	金		竹中 寛
27	土		仁賀 定夫
28	日		林 勝
29	月	お休み	
30	火	お休み	
31	水		加藤 幸江

近年は人と人とのつながり（コミュニティ）が希薄になり、地域によつては、近所どうしでも挨拶しない、隣に住んでいる人もよく知らない、という状況になりつつありますし、それに伴って町内会・自治会の加入率も低下しつつあります。

しかし、区や自治会は、地域コミュニティの中心的存在として、さまざまな団体と協力しながら、さまざまな活動を支えています。

特に、大きな災害等の非常時の助け合いや、子どもや高齢者の見守りなど、地域の防災・防犯対策には、地域を中心に人と人とのつながりの大切さが改めて認識されています。

「サポートリングたかしま」は、さまざまな住民の方や市民グループが気軽に立ち寄り、つながり、交流でき、ネットワークが自然に生まれるような場となることを目指して取り組むを進めており、既にいくつかの区・自治会から活動についてのご相談をいただいています。

まだまだ収まらないコロナ禍の中で、区や自治会におかれましては、

今年も文化祭の開催の有無を検討する時期となりました。ここで協議の意向を調査いたします。調査結果は8月発行の「高島地域住民自治協議会だより」に掲載する予定です。

今後は住民の皆様が知りたい情報などは、積極的に収集し必要とされる方々に提供したいと考えています。

今年も文化祭の開催の有無を検討する時期となりました。ここで協議の意向を調査いたします。調査結果は8月発行の「高島地域住民自治協議会だより」に掲載する予定です。

今後は住民の皆様が知りたい情報などは、積極的に収集し必要とされる方々に提供したいと考えています。



当たり前だった行事を普通にやりたい

### パソコンが苦手な役員さんに朗報♪

8月3日より区・自治会配布書類のパソコン入力のお手伝いができることになりました。

手書き文書をお持ちいただければ、サポートリングのスタッフが、ワード・エクセルを駆使してきれいに仕上げます。もちろん無料です♪



新スタッフ紹介  
藤野 清子さん

7月より高島地域住民自治協議会でお仕事をさせていただくことになった藤野です。

高島地域の皆さんのお力になれるようサポートして参りますので、お気軽にご相談ください。

趣味は旅行、美味しいお店巡り、音楽鑑賞など。

ゆるゆるっと韓国語 勉強中。

新旭在住。

## サポートリングたかしま 高島地域住民自治協議会

事務所：高島市勝野670番地 高島公民館2F

開館日：☉・丹・央・水・木・金・土 (お休みは予定表をご覧ください)

相談時間：10時～13時 (相談員が待機しております)

開館時間：09時～16時 (パソコン入力などのお手伝いをします)

☎：090-2115-9055 (お越しの際は、まずはお電話下さい)

メール：takashima.juminzichikyoku@gmail.com



高島地域の勝野北端、国道161号線を東西から挟むように新町はあります。ここに43戸158人の住民が暮らしています（7月1日現在）。

その一人ひとりが町内でのそれぞれの役割を担いながら、元旦の御日待祭、夏の地蔵盆、秋の文化祭、また有志の会など様々な行事を通じて交流・協力し合い、住民同士の繋がりをとても大切にしています。



囃子に参加)がお囃子の稽古をしますが、ここでは挨拶の仕方からお茶の出し方まで、子ども達が地区の一員としての礼儀や作法を学んでいく場ともなっています。

新町の春はこのお囃子の音とともに訪れます。そして、桜花から若葉へと季節が移るに連れ、その音も強く大きくなっていきます。

祭り当日、今は遠くに住んでいる者も帰省して旧交を温め、お年寄り達も嬉しそうに巡行を見守ります。子ども達、若者らの賑やかな声とお囃子の音が新緑に広がります。

新町、そして大溝の晩春を彩る風物詩です。

(文章 久保田広志)

そんな新町最大の行事が、毎年5月3日（宵宮祭）、4日（本祭）に湊・巴・宝・竜の各組とともに曳山巡行を行う日吉神社の大溝祭です（令和2年～4年の曳山巡行はコロナ禍により中止）。

因みに、大溝祭の際は「新町」という呼び名ではなく、山組町（曳山を持つ地区）名から「勇組（いさみぐみ）」または「勇（いさみ）」と呼ばれます。

祭りに向けての神事・準備に並行して、3月下旬から囃子方の稽古が始まります。中老・世話方の指導の下、小中学生（平成28年から女子もお



### 高島地域の

### コナ話

### あんな話

### つなぐ棚田遺産 ～ ふるさとの誇りを未来へ ～



畑の棚田



鶺鴒川の棚田

今年三月に、「畑の棚田」と「鶺鴒川の棚田」が農林水産省から「つなぐ棚田遺産」ふるさとの誇りを未来へ」に認定されました。棚田には、日本の原風景とも言える美しい景観が見られるだけでなく、自然のダムとも言われる様に水を蓄える力がある他、多様な生物が住んでいるなど多くの特徴があります。しかし、一方では農作業に労力がかかり、担い手の高齢化などもあって年々耕作放棄地が増えているのも現実の姿です。そんな中、「畑の棚田」は平成十一年に滋賀県内で唯一「日本の棚田百選」に指定されましたが、今回は「鶺鴒川の棚田」とともに高島市から二地区が選ばれ、これは高島地域の環境や景観の保全努力が評価されたものです。「畑の棚田」は最上部と最下部の棚田の標高差が百mもあり高低差が非常に大きいことが特徴ですが、一方「鶺鴒川の棚田」は横方向（南北方向）に大きく広がっており、琵琶湖や湖西線を走るサンダーバードも視野に入り雄大な景観を形成しています。これらふたつの棚田は、市内外の多くの方々にその魅力を是非とも感じ取っていただきたい高島地域のベスト景観スポットです。

注：今年の10月1日、2日には、「第27回全国棚田(千枚田)サミット」が高島市で開催されます。